

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	塩屋原地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県 串間市	450006 452084	1	H26～ H29	H26
活性化計画の区域				
宮崎県串間市塩屋原地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	3年	3年	100%	

(コメント)

計画に基づき、平成26年度に地形図作成を実施し、計画どおり平成28年度に県営経営体育成基盤整備事業が採択された。事業が着手されたことにより、目標は100%達成した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
地形図作成	地形図作成 A = 118ha			串間市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
—	平成26年度	平成26年度	—	

事業の効果

基計画に基づき、平成26年度に地形図作成を実施し、計画どおり平成28年度に県営経営体育成基盤整備事業が採択された。事業が着手されたことにより、目標は100%達成した。

3 総合評価

(コメント)

地形図作成により、事業の調査、計画の円滑な推進が可能となり、その結果、平成27年度に約97%の同意率を達成し、事業化に向けた土地改良法による手続きを経て、平成28年度に事業採択を受けた。現在は、換地計画原案作成等の

作業と合わせて、実施設計業務に着手しており、平成30年度中の工事着手に向けて事業が順調に進捗している状況である。

また本地域では、整備後を見据えて地域の合意形成を図るべく、担い手の育成や農用地集積に向けた活動等が積極的に行われており、今後においても円滑な事業推進が期待される。 今後は、県営土地改良事業を計画に進める事で、担い手への農地集積につながり、農業生産性向上や経営規模拡大が推進され、定住等の促進も期待される。

4 第三者の意見

(コメント)

本事業の対象である串間市塩谷原地区の水田地帯は、農道が狭小、かつ圃場区画が狭く、維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。また、農地の集約化に応えることができず、耕作放棄地の発生、営農意欲の減退につながるものが懸念されている。このような中、本事業により、調査・計画・換地作業及び施工に関して基本となる地形図を作成することができ、基盤整備着手に際しての調査・計画、換地作業等を円滑に進めることができた。現在、工事着手に向けて事業が順調に進捗しており、今後の円滑な事業促進、並びに本地区における地域の合意形成と担い手への農地集積、営農意欲の向上が期待される。

(宮崎大学農学部教授 山本直之)